

26. 島田こども園保護者への「魅力ある学校づくり構想」の説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成28年（2016年）6月10日（金）18時30分～

○場 所：島田こども園 2階ホール

質問・意見等	豊中市からの回答
<p>学校再編で庄内小敷地まで通学する際に、例えば三愛病院の前の道路など危険な箇所があるが、道路整備等も合わせて考えているのか。</p>	<p>検討部局の中には、道路整備を所管している都市基盤部も含まれており、道路幅員の拡幅は困難ですが、例えば歩道の整備やグリーン舗装などの対応は考えています。その他にも、例えば信号の設置の検討や道路舗装のやり直し、電柱幕の設置などの対応も考えられます。今後、具体的な検討を進める際に、例えば保護者や地域の方とまちあるきをして、通学路や危険箇所の対応検討を進めていくことも考えられます。</p>
<p>北校は島田小がなくなって、庄内小に通わせることになるのか。</p>	<p>案1の場合、庄内小学校、島田小学校も含めて既存の小中学校は全て閉校し、庄内小の敷地に整備される新しい学校に通うこととなります。</p>
<p>今、穂積に住んでいる。例えば、豊島小か新しい学校か、選択できるようにならないか。</p>	<p>稲津町は調整区域ですが、今回の学校再編によって調整区域は解消したいと考えています。選択制は考えていません。</p>
<p>この構想案は、いつまでに決定されるのか。</p>	<p>資料では、今年度中に構想案2案から1案に絞って計画を固めていきたいと書いてありますが、決してスケジュールありきで進めることは考えていません。今回のような説明会を重ねて、地域の皆様から一定のご理解を得られるように検討を進めていきたいと考えています。</p>
<p>まだ早いかもしれないが、制服はどうなるのか。また、給食は自校調理で、中学生もすべて完全給食にしてほしい。</p>	<p>視察に行ったある小中一貫校では、小学生は私服、中学生は制服でした。今後、計画が固まった後に、例えば保護者・地域代表、教職員代表などが入った検討組織を立ち上げ、そこで制服など検討を進めていくことも考えられます。給食については、島田小学校や庄内南小学校のような自校調理が良いというご意見もお聞きしています。中学校給食のあり方も含めて、持ち帰り検討します。</p>
<p>放課後こどもクラブはどうなるのか。</p>	<p>放課後こどもクラブはこども未来部の所管ですが、基本的には従前と同じく小学4年生まで、支援学級在籍児童は6年生まで、場所は学校敷地内になることが予想されます。構想案2の場合は、おそらく低学年（1-4年生）校舎の敷地に整備することになると考えられます。構想案1の場合は、校舎配置や教室配置の工夫が必要となります。</p>
<p>支援学級はどうなるのか。</p>	<p>これまでと同様、支援学級は設置します。豊中市ではインクルーシブ教育が実践されており、基本的にはみんなと一緒に授業を受ける、場合によって分かれて授業を受けることとなります。</p>
<p>学校再編案として2案という説明だったが、第3案はないのか。</p>	<p>今回お示した2案より優れた案ならば検討しますが、少なくとも現状維持という第3案、今の学校が良い学校だから触らずに残すという考えは持っていません。</p>
<p>個人的には小中一貫教育でない方が良いと思って</p>	<p>今回の学校再編案は小中一貫教育を柱の一つに考えています。</p>

<p>いる。小学校同士、中学校同士で統合すればよいのではないか。小中一貫だと9年間固定化するのではないか。</p>	<p>小中9年間を見通して、学習・生活指導を行うことで、成果があがっていると報告されています。構想案2の場合、1年生から4年生までと、5年生から9年生までに指導区分を変更していますが、これは子どもの早熟化や中一ギャップも意識して、小学校高学年から中学校生活に慣れさせていくことを考えています。</p>
<p>小中一貫教育の事例として、5年生から教科担任制など資料にはあるが、例えば他の学校から転校してきた場合、ついていけなくなるのではないか。</p>	<p>もしかしたら私立の中高一貫校のようなイメージをもたれているかもしれませんが、そうではありません。例えば、東京の小中一貫校は、中学校進学時の私学抜けが多いため、学力向上を意識している面がありますが、私どもが考えている小中一貫校はそうではありません。授業の進行などは他の学校と変わりませんが、9年間を見通し、小中学校の教職員が話し合っ、躰きやすい箇所や、しっかりと身につけておくべき力を明確にして、そこを重点的に教えることなどができます。そこが小中一貫教育の大きなメリットであると考えています。</p>
<p>小中一貫教育のメリットはわかったが、デメリットも教えてほしい。</p>	<p>例えば、4-3-2制という指導区分にした場合、3の部分、5年生から7年生が中だるみする、小学校高学年のリーダーシップが育たないといったご指摘もありますが、この点については学校行事や教育活動を工夫することでクリアできると考えています。また、よく説明会で言われるのが、一部の中学生が小学生に悪い影響を与えるのではないかというのですが、この点についても、上級生は下級生の手本となろうとする、下級生は上級生に憧れの気持ちを抱く、といった成果として報告されており、問題ないと考えています。新学校開校時は小中一貫教育の成果が現れないかもしれませんが、その時は教職員の加配や、保護者、地域の皆様のご協力を得ながら、対応していく必要があると考えています。</p>
<p>市は、生活指導面についても小中一貫教育が効果的と考えて、導入しようとしているのか。</p>	<p>庄内地域において、生活指導面でも小中一貫教育が効果的と考えています。今後、他市事例も視察等を通じて他市事例を収集し、さらに検討を進めていきます。</p>
<p>この「魅力ある学校」に通うのは我々大人ではなく、子どもたちである。ならば、子どもたちの意見を聞く必要があると思うが、その点はどのように考えているのか。</p>	<p>庄内地域で活動している団体から、「こども会議」の相談を受けており、ぜひ実現したいと考えています。学校再編など教育環境の整備・充実に関しては、市の、大人の責任において検討すべき性質のものですが、新しい学校はどんな学校が良いか、どんな学校に通いたいか、これからの庄内地域はどんな地域になってほしいかといった未来志向の意見はぜひ聞きたいと思っています。</p>
<p>今回のように市から説明をして、それに対する質疑応答というスタイルでは、なかなか意見が伝えられない。ぜひ、座談会のように、我々の意見を出しやすくして、市がそれを聞くというスタイルで行ってほしい。</p>	<p>ご意見を参考にしながら、今後の開催方法等については検討したいと考えています。</p>